

2023.5.27 (予選) / 5.28 (決勝)

2023 AUTOBACS SUPER GT Rd.3

SUZUKA GT450 km RACE

RACE REPORT



日産愛知自動車大学校



レース結果

予選 9位 Q1 TIME:1'57.562

Q2 TIME:1'57.007

決勝 4位 BESTLAP :2'00.364

予選Q1はオリベ이라選手が担当し、見事B組を2位で通過しました。Q2を担当した名取選手は途中ウォームアップ中の車両に詰まり、9位で予選を終えました。



決勝ではスタートを名取選手が担当し、43周を過ぎたところでオリベ이라選手にバトンタッチしました。

素晴らしいペースで追い上げを見せていましたが、59周で大きなアクシデントが発生し、レースはそのまま赤旗中断となりました。

チームは4位でレースを終えましたが、今回のレースで56号車はチームランキングで1位に立ちました。

近藤真彦監督インタビュー



Q.チームを運営するうえで人財育成は重要なことだと思いますが、近藤監督は何を重視していますか？

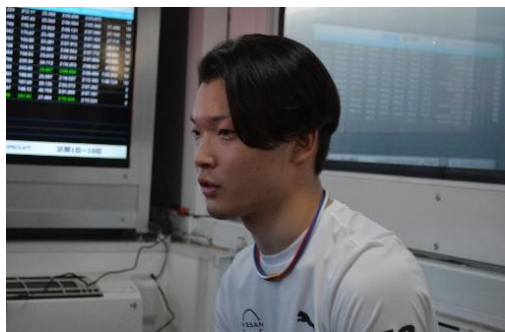
A.僕のチームでは距離感を凄く大事にしている。くっつき過ぎず離れ過ぎず、この「ちょうどいい距離感」がいいと思う。

会話ひとつやミーティングでもそれは同じで、自分の気持ちをさらけ出す時もあれば、突き放して「自分たちで考えなきゃだめでしょ」と考えさせるミーティングを行う時もある。

「うちの監督は何を考えているのかわからない」と言われるときも必要だし、親身になってアドバイスするときも大事だと思う。

ドライバーインタビュー

名取鉄平選手



Q.SUPER GT や SUPER 耐久と、
様々な分野で活躍されていますが、
優勝した時以外で喜びを感じる瞬間
はありますか？

A.優勝した時と関連づいてしまいますが、いい結果を残すと SNS など
で祝福の言葉をかけていただいたりすることが多いのでその時は
とてもうれしく思います。

J-P.デ・オリベイラ選手



Q.他のチームよりも KONDO
RACING は規模が大きいと思いま
すが、日産応援団や学生は走行中や
ピットから見えますか？

A.はい、いつも日産応援団や学生がスタンドやピットの上に来てく
れるので、そのおかげで私は元気づけられますし、彼らのために私
はベストを尽くします。

日産販売会社テクニカルスタッフインタビュー

今回の日産メカニックチャレンジに参加された販売会社で働く

整備士（テクニカルスタッフ）の方にお話を伺いました。

日産プリンス名古屋販売株式会社

林 天晴さん（愛知校卒業）

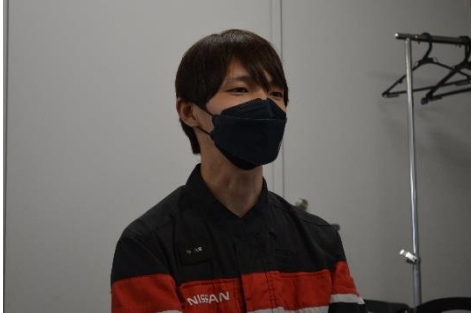


日産学園に在籍していた頃、S耐とメカニックチャレンジに参加させていただきました。ディーラーに就職してからもレースは見ていましたし、普段とは違う業務に携わりたいと思い参加しました。

決勝の1週間前から行われる研修で、初めてレーシングカーに触ったときは乗用車との構造の違いに戸惑いました。しかし整備しているときの工具の使い方などはいつもと変わらない大事なことでした。学生の方々はわからないことだらけだと思いますが、積極的に質問をしてくれて、とても活動的で僕達も質問に答えやすかったです。

プリンス三重自動車販売株式会社

平井大輝さん



以前弊社の者がメカニックチャレンジに参加しているのを観戦して、自分も興味を持ちました。指示を受けて作業するので分からなければ聞く、作業

が完了したことをしっかりと伝えることなどの流れが一つでも欠けると大きな事故につながってしまうので作業以外ではそこを一番意識していました。

愛知日産自動車株式会社

長江昭宗さん（愛知校卒業）

小さいころからスポーツカーが好きで、車を走らせることも大好きです。今回自分が車を走らせるのではなく、裏方の仕事も体験してみたいと思い参



加しました。活動する中で、学生のコミュニケーション能力が素晴らしいと思いました。学生のほうから「これってなんですか？」や初対面の人に対しても「これやりましょうか？」など言えるところが素晴らしいと思います。

日産愛知自動車大学校 学生インタビュー

統括 一級自動車工学科 佐藤遼河



今回は統括として指示する立場になりました。初めは上手く指示を出せない部分もありましたが、統括補佐をはじめ、先生方のアドバイスもあり、上手く指示

を出せるようになりました。仲間と協力して問題点を修正するという、チームプレーの在り方を学びました。

統括補佐 一級自動車工学科 近藤孝祐

今回、統括補佐という役割に就き、統括が行う仕事を見守る仕事をしました。統括を助けるためにも自分が統括より周りを見るように意識しました。人に



アドバイスをする立場になったのが初めてだったので、どのように説明すればいいか悩みましたが、例え話にすると伝わりやすいという事に気が付きました。

テクニカル領域

自動車整備・カーボディマスター科 森下太智



今回テクニカル領域として参加させていただきました。KONDO RACING のメカニックの方たちは集中力が学生よりも遥かに上回っ

ていました。些細なミスも許されないなかで、高い集中力を保つのはさすがプロだなと感じました。少しでもレースや車に興味のある方は実際に参加して、現場の緊張感を肌で感じてください。

ドライバーサポート

一級自動車工学科 田端秀哉

メカニックチャレンジは初参加で、ピットの作業を希望していました。ですが、自信がなく、悩んでいた時にドライバーサポートを知り、応募しました。初めは何もわかりませんでした。担当の方にドライバーの動く瞬間を教えていただくことで KONDO RACING の方に近づけたと思います。



広報所感

今回、一年生や二年生の多くがメカニックチャレンジ初参加という事もあり、初めはしっかりと運営できるか不安でした。ですが、経験者や上級生、そして教員のアドバイス、そして何より学生達の絶対に成功させるという強い意志のもと、無事活動を終えることができました。設営日は大雨に見舞われましたが、予選/決勝は天気も回復し、日程が進むにつれ、学生たちの成長が見て取れました。

愛知校からも多数の学生が応援に駆け付け、教員も活動している学生へ激励したりなど、学校全体で活動していることを実感しました。このような活動を続けられるのもスポンサーの方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。

広報担当（愛知校）

團、石塚、大石、駒田、小林、原、堀木

